

「子どもの強さと困難さアンケート」

P 2-4

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかのボックスにチェックをつけてください(例:☑)。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

お子さんのお名前:

性別: 男子/女子

お子さんのお誕生日:年.....月.....日

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつもそわそわしたり、もじもじしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年下の子どもたちに対してやさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく大人に対して口答える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく考えてから行動することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の人に対していじわるをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こわがりで、すぐにおびえたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

署名:

日付:年.....月.....日

ご回答くださったのはどなたですか(○をつけてください):

親/保育士・教師/その他(具体的に):

ご協力ありがとうございました。

© Robert Goodman, 2005

出典: SDQ子どもの強さと困難さアンケート(表面)+追加項目(裏面) 2~4歳児用/親記入用

<https://ddclinic.jp/SDQ/aboutsdq.html#:~:text=SDQ%E5%BD%A2%E5%BC%8F%E3%81%AE%E7%9F%AD%E3%81%84%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>

全体的に、お子さんは、下記のいずれか1つ以上の領域において困難を抱えていると思いますか？
：情緒，集中力，行動，他人との付き合い

いいえ	はい - ちょっとした 困難	はい - 間違いなく 困難	はい - 深刻な 困難
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「はい」と答えた場合、それらの困難に関する以下の質問にもお答え下さい。

・それらの困難はどれくらい続いていますか？

1カ月未満	1～5カ月	6～12カ月	1年以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・それらの困難によってお子さんは動揺したり、悩んだりしていますか？

全く あてはまらない	少しだけ あてはまる	まあ あてはまる	かなり あてはまる
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・それらの困難によって、以下の領域でお子さんの日常生活は妨げられていますか？

	全く あてはまらない	少しだけ あてはまる	まあ あてはまる	かなり あてはまる
家庭生活	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学習	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
余暇活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・それらの困難はあなた自身や家族全体にとって負担になっていますか？

全く あてはまらない	少しだけ あてはまる	まあ あてはまる	かなり あてはまる
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

署名： 日付：

母親／父親／その他（具体的に）：

ご協力どうもありがとうございました。

© Robert Goodman, 2005

出典：SDQ子どもの強さと困難さアンケート（表面）＋追加項目（裏面）2～4歳児用/親記入用

<https://ddclinic.jp/SDQ/aboutsdq.html#:~:text=SDQ%E5%BC%88Strength%20and%20Difficulties%20Questionnaire,%E5%BD%A2%E5%BC%8F%E3%81%AE%E7%9F%AD%E3%81%84%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>



出典：こども家庭庁HP 5歳児健康診査マニュアルより
<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/manuals-etc>

<事例1：大分県津久見市>

大分県津久見市では、平成20年度より、**悉皆の集団健診方式**で5歳児健診を実施しています。健診で得た情報は、保健師や健診会場で相談対応した臨床心理士が、保護者の同意を得て、各分野との共有を行っています。

健診当日は、**保健師や医師、保育士や臨床心理士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、教育委員会に所属する指導主事**が参画します。保育士と臨床心理士は、健診会場でこどもの集団活動の状況や行動観察を行っています。指導主事は、健診会場で保護者に対して、入学後の学校生活や就学時点における生活習慣等の到達目標に係る情報提供や、子育てに関する相談先の情報提供を行っています。あわせて、保護者の希望があれば、健診後に随時、積極的に就学相談を実施しています。**健診に参画したスタッフは、その日のうちに「健診後カンファレンス」を開催し、就学に向けて配慮が必要と考えられるこども（要支援のこども）の今後の支援方針について議論します。**

健診後は、要支援に該当した全てのこどもを対象として、「**巡回療育相談会**」を活用してフォローアップを行っています。この相談会は、大分県、隣市の臼杵市と共同開催で、年5回、定期的に行われており、医師や作業療法士、言語聴覚士、療育保育士（療育機関に所属する保育士）、相談員や臨床心理士、保健師等多職種が参画しています。また、家庭の様子と集団生活の様子が異なっている場合や保護者の支援が必要な場合等には、園の担当保育士が同席することもあります。さらに、「巡回療育相談会」を開催した後、この相談会の内容を踏まえて、保護者や園の担当保育士を除いた全スタッフが会して今後の支援方針について確認を行っており、就学前や就学後の支援が必要と判断された場合には、指導主事に情報共有が行われます。「巡回療育相談会」を通じて、要支援に該当したこどもの様子をフォローアップすることができ、保健、医療、福祉、教育の各分野の観点から有効な支援策を講じることができます。また、参画するスタッフが情報共有するための様式(図2)を定めており、有効な支援策を講じるための基礎資料として使用されています。

なお、こども園（津久見市内には保育所はなくすべて認定こども園）に対する支援として、年2回、市の事業として「**認定こども園巡回訪問**」を行っています。この事業は、各関係機関の持つ情報を共有し、その結果、要支援のこどもについて、各種支援につなぎ、見守ることをねらいとしています。参画する職種は、保健師、保育士、臨床心理士、教育委員会の指導主事などです。必要に応じて、大分県が実施している発達相談支援である「**施設支援事業**」を紹介することもあります。どちらの事業も臨床心理士といった専門職が園に出向いて支援するため、園の保育士が通常の保育の中で、福祉の専門職と協力・連携で

出典：こども家庭庁HPより <https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/manuals-etc>
5歳児健康診査マニュアルP35

※赤線、マーカーは小森谷による

＜事例3：香川県東かがわ市＞

香川県東かがわ市では、平成17年度より市内の三つのこども園に限定した5歳児健診モデル事業を実施し、その結果を踏まえて、平成18年度より市内全域のこども園に拡大して全ての公私立こども園で巡回訪問方式の5歳児健診を4歳児の学年を対象に実施しています。

当市では、各こども園での健診実施前に「保護者説明会」を開催しています。この説明会では、5歳児健診の内容について説明するとともに、健診において取得する個人情報の取り扱い、例えば、健診結果を今後の発達支援や就学相談の場で使用し、関係者で共有することについても説明し、保護者から文書・署名による同意を取得しています。「保護者説明会」後に発達に係る問診票の記載を保護者及び担当保育士に依頼し、回答結果を、担当保健師が確認します。担当保健師は、確認した問診票の回答結果と過去の健診結果を踏まえて、「事前観察」として、健診実施前に、作業療法士や社会福祉士等の療育センタースタッフと共にこども園を訪問し、こどもの集団生活の状況について、担当保育士に聴取し、あわせて、こどもの行動観察を行っています。「事前観察」後は、健診当日に従事する保健師、療育センタースタッフ、医師で「発達が気になるこども」の情報共有を行っています。

当日の健診業務には、保健師、医師といった保健・医療従事者、作業療法士や言語聴覚士といった専門職、管理栄養士、事務担当（福祉・教育部局）等が参画します。保健師は問診や保健指導を担当し、作業療法士や言語聴覚士はこどもの発達面での観察を実施するとともに、構音障害の発見とその治療の適応を判断します。健診終了後には健診スタッフ及びこども園の担当保育士が参加する「健診後カンファレンス」を開催し、健診当日の状況から「良好」、「要指導」、「要観察」、「要療育」等の判定を行います。

さらに、5歳児健診を受けた全てのこどもを対象として、5歳児健診実施2～3か月後に「事後観察」を実施します。「事後観察」は、事前観察と同様に保健師が療育センタースタッフと共にこども園を訪問し、健診後カンファレンスの結果を再評価します。この「事後観察」を通じて、保護者の意見や保護者の困り感・障害受容等を把握して、適切なタイミングで療育センターに紹介できるよう、保健・福祉の観点から有効な支援策を講じています。なお、「健診後カンファレンス」及び「事後観察」において、対応する関係者で情報共有するための様式（図4、図5）を定めています。

あわせて、就学前には教育部局との連携も図ります。具体的には、就学先決定等について、市の教育委員会に対して助言を行う教育支援委員会の事前資料として、「5歳児健診の結果」の項目を設けて、5歳児健診担当課（福祉部局）の担当者から教育部局の小学校就学担当者へ健診結果を提供しています。

※赤線、マーカーは小森谷による

出典：こども家庭庁HPより<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/manuals-etc>
5歳児健康診査マニュアルP41

竹田市における 5歳児健診（集団健診型）の実際



大分県竹田市
こども家庭センター 内柳知恵美

⑧健診後カンファレンス

資料2-5

【メンバー】

特別支援コーディネーター

保健師・栄養士・公認心理師・幼稚園教諭

小森谷さやか議員 令和7年定例会 12月定例会議 一般質問資料



* こどもや家庭全体の健康課題を再度整理。

* 医師の診察結果、保健指導の結果、健診従事者の情報を持ち寄る。

* 保健師の保健指導で行ったフォローアップに関する判断の妥当性を検討。

* 上記をもとに「総合判定」を行う。

* 「発育・発達を含む、児と保護者の健康課題に対する継続的な支援が必要」と判断した場合は、「フォローアップの対象」として継続支援。

1. 5歳児フォロー相談会

資料3

小森谷さやか議員 令和7年定例会12月定例会議
一般質問資料

竹田市こども家庭センター

令和6年度 子育て相談会のご案内

竹田市では子育て支援のための個別相談会(無料)を
専門機関の先生と連携して行っています。
お気軽にご相談ください。



医師相談：医師がお子さんの発達や発育の診察、相談を行います。

作業療法相談：お子さんの手先の不器用さ(鉛筆や箸の操作など)、未歩行、体の使い方などの相談に対してアドバイスをいたします。

ことばの相談：言葉の遅れ、発音の不明瞭さ、吃音(どもり)、コミュニケーション(一方的に話す、話しているが会話になりにくいなど)についてアドバイスをいたします。

心理相談：お子さんの発達に関する全般的なこと、子育ての悩み、しつけの方法などを心理学的視点からアドバイスします。

教育相談：幼稚園入園や小学校就学までのスケジュールや準備、教育制度など必要な情報をお知らせしアドバイスします。

【今年度の日程】

5月23日(木)	午後 13:00~17:00 相談は個室で 40分程度行い ます。
6月21日(金)	
7月18日(木)	
9月12日(木)	
10月18日(金)	
11月21日(木)	
1月23日(木)	
2月21日(金)	
3月13日(木)	

この日以外でも、当センターには、
心理士が常勤しておりますので、お子
さんの子育てに関する相談があれば、
いつでもお気軽にご連絡ください。

【お申込み/相談】

竹田市こども家庭センター
☎63-4823
内線、自線

発達全般の医師相談

からだ、運動面の作業療法士の相談

ことばの言語聴覚士の相談

発達・子育てに関する心理士の相談

教育委員会による教育相談

出典：令和6年度 母子保健指導者養成研修 講義資料より抜粋
https://boshikenshu.cfa.go.jp/assets/files/tr/r6/tr2_case_2.pdf

1. 児童発達支援・放課後等デイサービス利用までのながれ

① 利用したい事業所を決める。

事業所に連絡し、見学をしたり、受け入れ可能か等の確認をお願いします。

② つくば市障害福祉課にサービス受給者証の申請をするための必要書類(下記参照)を揃える。

事業所の利用には受給者証が必要です。受給者証を申請するには、利用するサービスによって必要なものがあります。

小学校入学前までは…

児童発達支援

<必要書類>

1) 家族全員のマイナンバーがわかるもの

2) 障害者手帳※

3) 医師の診断書※

診断書は指定の様式はありません。

4) その他(療育の必要性がわかる書類)※

※印の書類はいずれか一点の提出が必要となります。

小学校入学～高校卒業までは…

放課後等デイサービス

<必要書類>

1) 家族全員のマイナンバーがわかるもの

2) 障害者手帳※

3) 医師の診断書※

診断書は指定の様式はありません。

※印の書類はいずれか一点の提出が必要となります。

③ サービス受給者証の申請・面談(電話予約)

<申請書類>

1) 申請書

※右のQRコードを読み取ると申請書類をダウンロードできるページが開きます。



2) 同意書

3) サービス等利用計画(※詳細は次ページをご確認ください)

受給者証の申請には面談が必要です。面談は予約制となっておりますので、

つくば市障害福祉課に「児童発達支援または放課後等デイサービスを利用したいので面談の予約をしたい」とご連絡ください。面談は保護者様のみでも可能です。面談時間は概ね40分程度を予定しております。

④ サービス受給者証の交付・利用開始

申請・面談後に受給者証が2週間前後で郵送されます。

受給者証が届いたら、事業所と契約し利用開始となります。

5歳児健診の実際

1. 健診当日までの準備

小森谷さやか議員 令和7年定例会12月定例会議
一般質問資料

【対象者に対して】

①案内文書の送付

教育委員会とこども家庭センターの共催で通知

②パンフレットを同封

※赤線は小森谷

発達特性に関する内容のもの

③就園先がある場合は、日頃の園での様子確認

～通知文書抜粋～

健診ではお子さんが日頃とは違った様子を見せることもありますので、保育園等での日常の様子をご確認ください。

④保護者アンケート